

就任のご挨拶



福井商工会議所
会 頭 八木誠一郎

第21代会頭に就任させて頂くことになりましたこと、身に余る光栄であると同時に、責任の重大さに身の引き締まる思いです。そして、改めて福井商工会議所の使命を果たすべく、心血を注がれた伊東前会頭のご尽力に心から感謝申し上げますと共に、その活動理念を継承し、取り組んでこられた重点プロジェクトを実施し、更には進化させるべく、誠心誠意努めて参ります。副会頭はじめ役員・議員の皆様、会員並びに関係各位におかれましては、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

さて、当所は昨年来、新型コロナウイルス対策に全力を投じるとの伊東前会頭の号令一下、資金繰りや給付金申請等経営支援の強化、消費拡大キャンペーンの展開等、窮状にある企業の支援や需要回復に努めてきました。ワクチン接種拡大に伴い、経済再建

の道筋が見えてくると期待する一方、経済の本格回復迄には未だ相当の時間を要するものと認識しています。引き続き、行政・金融機関・支援機関等との連携強化の下、企業に寄り添い、きめ細やかで親身かつ丁寧な経営支援にしっかり取り組んで参ります。そして、ウイズ／アフターコロナ社会を見据えながら、事業再構築を図る計画策定支援や生産性向上の為にデジタル化支援、また価値ある事業と技術を次世代へ繋ぐ事業承継や引継ぎ支援等、時流に即した事業に取り組み、地域企業の事業継続と地域経済の再生に繋げて参ります。

また、北陸新幹線福井開業が3年を切り、いよいよ目前に迫ってきています。伊東前会頭は「新幹線開業は地域活力を取り戻す『希望』」であり、多様な主体が連携・協働し、百年に一度のビッグチャンスを確認なものにしなけ

ればならない」と仰っていました。その様な中、昨年、県・市・商工会議所の三者で「県都にぎわい創生協議会」が設置され、私は座長の任を拝命しました。現在、エリアマネジメント部会並びに新幹線開業準備部会の両部会長の下、県・市幹部、地元事業者、交通事業者、地権者、学識経験者等の皆様の英知を集め、将来を見据えた県都福井のブランドデザインと実施計画策定に取り組んでいます。賑わいある、そして心豊かな地域を創造する中長期構想をまとめ上げ、官民連携・協働でまちづくり・観光振興等の地域基盤づくりを推進していきます。

いつの時代もそうですが、昨日より今日、今日より明日と必ず人々は進歩を求めています。そして、それに呼応するように社会や経済環境もまた、大きなうねりを見せながら変化しています。改めて「万物は流転する」ことを、

私達は今般の新型コロナウイルスによって気付いただけでなく、否応なし且つ物凄いスピードと衝撃で環境と価値観の変容を突き付けられています。この様な時だからこそ福井商工会議所の真価が問われるということを肝に銘じ、企業そして地域の能動的な変革への挑戦と、未来を切り拓く「進取果敢」な役割を果たしていきたいと思えます。

結びになりますが、会員各位、関係官庁並びに各方面の皆様と引き続き緊密に「連携協働」しながら、中小・小規模企業の持続的発展と産業の高度化、そして活力ある地域づくりに「親身丁寧」に取り組んで参ります。私は前会頭の理念をしつかりと継承し、事業の仕上げと更なる進化に努めて参りますので、皆様の深いご理解と絶大なるご支援そしてご協力を重ねてお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせて頂きます。

退任のご挨拶



福井商工会議所
前会頭 伊東 忠昭

福井商工会議所会頭を退任するにあたり、一言お礼のご挨拶を申し上げます。

私は、令和元年11月の臨時議員総会におきまして、議員の皆様のご推挙により、名誉ある第20代会頭に就任させて頂きました。以来、1年半余に亘り会頭の重責を務めさせて頂きましたが、ここまで副会頭をはじめ議員の皆様方、会員各位の温かいご支援・ご協力を賜りましたこと、衷心より感謝申し上げます。

会頭就任間もなく、新型コロナウイルスという驚天動地の出来事が起こり、過去の経済危機とは全く性質の異なる経済ショックに見舞われました。我が国経済は深刻なダメージを受け、未曾有の国難に直面しています。最悪期を脱し、緩やかながら持ち直しの動きが見られているとは言え、感染拡大と収束を繰り返す短

期的な局面変化の中で、一進一退の状況が依然続いています。ワクチン接種が進み、コロナ禍収束の光明を期待しておりますが、経済再生の道のりは未だ不透明であります。

こうした中で、窮境にある会員事業所に対する経営支援こそが、商工会議所が取り組むべき重点課題と捉え、特別相談窓口の設置や専門相談員の配置による支援体制を強化し、資金調達や助成金申請等の支援に総力を挙げて取り組んで参りました。さらに、県と連携し、GOTOイートや電子割引クーポン券「ふく割」発行などの消費拡大キャンペーンを展開し、地元消費を喚起し、経済回復に努めているところであります。あわせて、より一段の支援施策の拡大・充実が図られるよう、行政への要望活動に積極的に取り組み、経済界の声を反映した多くの施策が展開

されました。 コロナ禍が1年を経過し先が見通せない中で、地域経済の疲弊を大変憂慮しておりますが、行政をはじめ金融機関・支援機関等と商工会議所との連携・協働体制のもと、一層の新型コロナウイルス対策が図られ、地域企業の事業継続と経済再生が果たされま

すよう切に願います。 また基盤整備におきましては、北陸新幹線福井開業を見据え、福井県・福井市・福井商工会議所の三者による「県都にぎわい創生協議会」を設置し、福井駅周辺エリアの将来像や短期・中期・長期にわたる戦略策定に取り組みしました。この地域戦略が、官民が連携した行動の礎となり、賑わいと輝きに満ちた県都福井の創造が実現されますよう期待しております。

福井商工会議所は、昨年4月に創

立140周年を迎えました。永い歴史と伝統に誇りを持つ一方で、この節目を新たな挑戦への転機と捉え、千変万化する時代の潮流に機敏に対応した商工会議所活動を、進取果敢に取り組んでいかなければなりません。このような時期に、私自身、任期半ばで退任させて頂くことは断腸の思いではございますが、幸い後任の会頭にフクビ化学工業の八木社長という最適任者を得ましたことは、私の大きな喜びであり、新会頭への絶大なるご支援をお願いする次第であります。

八木新会頭の下、福井商工会議所ならびに会員企業が益々発展されま